（一社）防府薬剤師会だより

清流

第129号
2016.6.30

大平山山頂（撮影：松浦紘明）

目次

気ままトーク　(フェアリー薬局　中原　圭一)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
服薬指導の実例　(山口県立総合医療センター　松永　聖子)・・・・・・・・・・・・・・・2
定例理事会報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
防府薬剤師会　第１回　臨時総会報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
職場紹介　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
こんにち和　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
会員の動き　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
表彰　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
生涯教育　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
山口健康福祉センターからのお知らせ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
熊本地震 DMAT 活動報告　(山口県立総合医療センター　白野　陽正)　・・・・・・・・13
熊本地震薬剤師ボランティア活動報告　(山口県立総合医療センター　渡邉　紘企)・・・15
(オーエス中関薬局　舟谷　博文)　・・・・・・16
献血が行われました　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
編集後記　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

― 気ままトーク ―

ＷｉｎＷｉｎの関係

フェアリー薬局　　中原　圭一

フェアリー薬局の中原圭一です。先日、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）に遊びに行ってきましたのでそのことについて書こうと思います。USJ には 15 年前に修学旅行で行ったことがあるのですが、今回行ってみて大阪はやっぱり商売上手だな～と感じました。ご存じの方もいらっしゃるかとは思いますが、USJ はフリーパス以外に様々な付加価値を付けたチケットが存在します。まずはハリーポッターエリア入場確約チケットというのがあります。USJ の目玉エリアでもあるハリーポッターには入場規制がかかるほどの人気がありエリアの中にさえ入れない場合があります。しかし、このチケットを持っていれば必ずエリア入場できるという優れものです。もちろん、フリーパス＋αの金額になりますが、ハリーポッター目当てに遠方からはるばる来られる方は「あまり来る機会もないし、せっかくの旅行なんだからしっかり楽しみたい」と思いますよね。必然的に入場確約チケットは確保することになるでしょう。ただ、このチケットには落とし穴が！！それはこのチケットはエリアの入場確約チケットなのでアトラクションに乗れる保証は全くないのです。しかも、入場確約も１回エリア外に出てしまうとそのチケットによる再入場はできません。さらに指定された入場時刻に入場しなければそのチケットはただの紙切れになってしまうのです。従って指定された入場時刻に間に合わず入場できない場合、入場しても何らかの事情でエリア外に出てしまって再入場できない場合、エリア内に留まるもののなかなかアトラクションに乗れず（平均待ち時間２１０分）ほとんどの時間長い行列に並んで、遊びに来たのか列に並びに来たのか分からなくなる場合などがあります。結局、満足に遊べそうにない・・・と思ったあなた。USJ はさらに稼ごうとしていますよ。次に紹介するのは EXPRESS パスというこれぞまさに金にものを言わせる最高額 VIP チケットです。このチケットは何とアトラクションに待たなくて乗れる夢のパスなのです。EXPRESS パスにもいろいろありまして４つのアトラクションを選びそのアトラクションのみ待たずに乗る事ができる EXPRESS４。アトラクションの数が７つに増えた EXPRESS７などがあります。あらかじめ選定されたアトラクションから４つ、又は７つ選ぶことができハリーポッターはもちろん、今話題のフライングダイナソー（ちなみに平均待ち時間 240 分）などの最新アトラクションも含まれています。これさえあれば入場制限に掛かることもなく、エリア内に入ることができてアトラクションも多くの列をなす一般客を横目に見ながら堂々と横入りできる極上の優越感に浸ることができます。このように経営側と消費者側が WinWin の関係を作れているのはさすが大阪！さすが USJ！といったところでしょうね。このような経営戦略を少しでも薬局に生かせていけたらいいな（現実はなかなか難しいですが。）と思う今日この頃です。

― 服薬指導の実例 ―

～産科病棟における服薬指導の取り組み～

山口県立総合医療センター　　松永　聖子

はじめまして。山口県立総合医療センターの松永と申します。

当院の規模は診療科目 27 科目、病床数 504 となっています。今年１月より病棟薬剤業務実施加算の算定を開始しました。それ以前は、準備期間として病棟薬剤業務に準じた取り組みを実施してきました。現在、私は総合周産期母子医療センターの中の産科病棟を担当していますので、産科病棟における服薬指導の実例について、ご紹介したいと思います。（産科病棟は薬剤師３名が担当しています。）

総合周産期母子医療センターは産科、新生児科、小児外科からなっており、24 時間体制で妊婦、胎児、新生児の管理を行っています。産科には、重症の妊婦や胎児のために、6 床の MFICU（胎児母体集中治療室）があります。それ以外に 18 床の産科病床があり、通常の分娩にも対応しています。さらに正常の経産婦の分娩に対応する助産院 6 床があります。平成 27 年度の分娩数は 706 件、帝王切開数は 177 件となっています。

産科で入院される主な対象患者・疾患としては①分娩（正常分娩、帝王切開分娩等）②妊娠関連疾患（切迫早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病等）③合併症妊娠（甲状腺機能低下症、バセドウ病、うつ病等）④一般的疾患（膀胱炎等）⑤胎児異常　⑥救命救急疾患（常位胎盤早期剥離等）があげられます。このたびは①～③を中心にお話したいと思います。

入院されると、まず、持参薬、アレルギー歴を確認します。持参薬の取り扱いや入院中処方される可能性のある薬が問題なく使用できるか等を確認します。

①分娩の場合、正常分娩では産後使用される抗菌薬、子宮収縮薬について薬効、用法用量を説明します。帝王切開分娩の場合、手術の前日に入院されることが多いので、事前に術後使用される注射薬（抗菌薬、子宮収縮薬等）について説明します。また、産後は疼痛等についても確認し、必要があれば処方依頼します。

②妊娠関連疾患の薬物療法で使用される薬剤としては、切迫早産ではリトドリン注、硫酸マグネシウム注が、妊娠高血圧症候群ではニフェジピン CR 錠、硫酸マグネシウム注が、妊娠糖尿病ではインスリンがあげられます。妊婦に対して薬効及び起こりうる副作用について事前に説明します。リトドリン注では副作用として動悸や手のふるえ等が、硫酸マグネシウム注では倦怠感、熱感、嘔気・嘔吐等が表れやすいので、できるだけ早い段階で説明するようにしています。血液検査結果の内容もチェックしています。妊娠糖尿病では、自己注射の手技について、デモ器を使用しながら説明します。妊娠週数が進むにつれ、必要となるインスリンの単位が増えてくるので、そのことについても事前に説明し、血糖値のコントロールの重要性をお話しします。

③合併症妊娠に関しては、現在行われている薬物療法及び入院中・退院後の薬の服用（継

続か中止か等）について確認し、入院中は指示されたとおり服用されているかどうか等について確認します。

病棟においては妊産婦の情報をスタッフ内で共有しておくことが重要なので、カンファレンスに参加したり、何か問題等あればすぐ連絡を取るようにしています。

妊娠中、薬を服用することに抵抗を感じる妊婦は少なくありません。しかし、お腹の赤ちゃんの成長のためにはまず、お母さんが健康であることが大切です。そのために薬の使用が必要だということを理解してもらうことは、治療を行っていくうえで重要です。薬がお腹の赤ちゃんに何らかの影響を及ぼすのか、それとも及ぼさないのか、きちんとデータを把握したうえで、説明できるようにしておくことは大事だと常々感じています。また、出産後も薬の服用を理由に安易に母乳を中止することがないよう、母乳のメリットを理解していただくとともに、薬が母乳に与える影響について、適切に説明できるようにしておくことが大切だと思っています。

妊娠中・産後は不安を感じやすい時期でもあります。妊産婦が安心して薬物療法が受けられるよう、しっかり勉強していきたいと思います。

今回のテーマとは関係ありませんが、5月に山口宇部空港のバラを見に行きました。見事でした。まだご覧になったことがなければ、ぜひ見に行かれてください。

（この記事が掲載されるころにはピークを過ぎているかもしれません。その場合は、来年にでも(^^)。）

― 定例理事会報告 ―

平成 27 年度第 12 回　定例理事会
開催日時:平成28年3月3日(木)19:30～21:00
開催場所:防府薬剤師会館
出席:福田、松浦、三堀、椎木、原田、白野、吉岡、竹光、越智、舟谷、山内各理事、松村監事
欠席:、福田(太)理事、笠原監事
オブザーバー:永田事務長

議題

【協議事項】

1.防府薬剤師会主催「くすりと健康フェア」(28 年 2 月 21 日)を終えて(松浦副会長):収支報告。参加者は、講演約 100 名(記帳者 90 名)、午後約 150 名(料理教室を含む)、イベントコーナー　約 150 名　。血液指先採取生化学検査では約100名来場者があったが、スタッフは他支部に手伝ってもらって何とかできた状況だった。ブースの配置・設置方法として、間仕切りがない等があり、相談等はやや少なく、検討が必要。ルルサスの構造上の問題なのか、やや入りにくい状況だった。次回行うとしたら会場、メインは何にしたら良いのか、開催時期の検討が必要。今回血液指先採取生化学検査で森川教授指導の下、Dダイマーも測定した。このことを今度の日本在宅薬学会で発表しても良いか。Dダイマーがメインではなく、あくまでくすりと健康フェアの一環としてであれば理事全員挙手にて承認。

2.臨時総会について(松浦副会長):司会は原田専務理事、議事録作成は事務局。通常総会は5月28日(土)19時から開催する予定。

3.新規入会者(松浦副会長):理事全員挙手にて入会が承認された。

【報告事項】

関連事項・その他

1.保健所・保健センター・その他行政関係(担当委員):3月7日(月)防府市役所にて自殺予防集会が開催された。保険薬局部会代議員会が開催され、会則の改正などの議題が承認された。

2.会営薬局関係(吉岡管理薬剤師):2月に入ってインフルエンザ患者が急増し、処方箋枚数が2200枚を超えた。

3.その他

・決算に伴う手続き(事務局):各委員会の今年度予算について、3 月末までに必ず精算し振込。各委員会の今年度の収支報告・活動報告、及び来年度の収支予算・活動計画を 4 月上旬までに報告。

委員会活動

①保険薬局委員会(松浦委員長):3月の協議会は3月8日(火)に開催。

②生涯学習委員会(三堀委員長):別紙にて3月の研修会並びに講演予定を説明。3月10日(木)の診療報酬改定の講演では100名以上の参加者が予想されるため、カリヨン203で行う。

③広報委員会(白野委員長):清流第128号を今月中に発行予定。

④学校薬剤師委員会(山内委員長):防学薬定例会を2月27日(土)開催。来年度の委員長・副委員長・会計を決定。防府市学校保健研修会の発表者も決定した。

⑤在宅医療推進委員会(越智委員長):心促さんと連携を取りながら、7月の日本在宅薬学会での発表の準備をしていく。

⑥その他小委員会・チーム

親睦小委員会(竹光委員長):来年度の計画は白紙。

休日診療所チーム(椎木担当理事):2月はインフルエンザ患者が急増し、2月11日から2人体制になった。3月17日(木)保健センターにて薬剤検討会が開催される。などを別紙にて報告。

平成 28 年度　第 1 回　定例理事会議事録

開催日時　:平成 28 年 4 月 7 日(木)19:30～21:00

出席理事　:福田(淳)、松浦、三堀、椎木、原田、越智、白野、竹光、舟谷、山内、吉岡、福田(太)

欠席理事　:無し

出席監事　:松村

欠席監事　:笠原

議　題

【協議事項】

1.定時総会開催について(松浦副会長):開催日時:平成 28 年 5 月 28 日(土)19:00～防府グランドホテル。開催までのスケジュール確認。

2.新規入会者(松浦副会長):挙手にて審議を諮り、全会一致で承認。

3.当会ホームページへの連絡(メール)の確認について(松浦副会長):白野理事より説明があった。ホームページに掲載されているメールアドレスに送られたメールについて、三役には転送されるよう設定することとする。保険薬局協議会にて、夜間休日の対応を謳う薬局は必ず対応するよう周知する。理事の連絡網を事務局にて作成する。

4.「犯罪防止支援自動販売機」の設置協力依頼について:事務局より別紙資料を用いて説明。会営薬局にて需要は無い。また設置場所が無い。協議の結果、設置は見送ることとなった。

5.店舗清掃について:事務局より別紙資料を用いて説明があった。・薬局を 3 ヶ月毎、事務所を年 1 回、エアコン 5 基(薬局、事務所、研修室)を年 1 回、清掃を検討している。・協議の結果、薬局清掃については年 1 回又は 2 回で交渉することとなった。

6.在宅薬学会へ提出する抄録について(竹光理事):メールにて各理事へ送信している。ご意見を頂きたい。

【報告事項】

災害対策について

関連事項・その他

1.会営薬局関係(吉岡管理薬剤師):月次業績、備蓄関係、その他について、資料を用いて説明があった。

2.その他　・北地区地域包括支援センターが 4 月より市事業団から「ひとつの会」の担当となる(越智理事)。・県薬剤師会代議員会での内容について、椎木副会長より説明があった。

委員会活動

1.保険薬局委員会(松浦委員長):協議会は、4 月 12 日開催予定。5 月 10 日開催予定。災害対策のために無線機が必要。保険薬局委員会にて購入した。55,000 円程度。5 月には三田尻病院に基地局を設置し訓練を行う予定。現在は舟谷理事がアマチュア無線の資格を持っているが、今後は吉岡先生と事務長が取得していく。

2.生涯学習委員会(三堀委員長、原田副委員):別紙を用いて説明があった。医師会学術講演会は第 4 水曜日開催となる予定。

3.広報委員会(白野委員長):清流の発行は 6 月 14 日の予定。

4.学校薬剤師委員会(山内委員長):4 月から舟谷まや先生が加わり、22 名で活動を行っていく。

5.在宅医療推進委員会(越智委員長、吉岡副委員長):3 月 30 日に委員会を開催した。

6.小委員会・チーム

休日診療所(椎木担当理事、山内副担当理事):別紙を用いて説明があった。

7.総務委員会(松浦副会長、山内委員):ビデオカメラを購入した。

その他

ホームページと委員会予算について(三堀副会長):個人情報保護方針をホームページへ掲載する。各委員会予算の一時金を各委員会へ￥200,000-ずつ配布する。事務局は対応をお願いしたい。

― 一般社団法人 防府薬剤師会　第１回　臨時総会　報告 ―

総会の種類:第1回　臨時総会
招集年月日:平成27年2月22日(月)
開催年月日:平成27年3月12日(土)　19時
開催場所:防府薬剤師会館(防府市東松崎町4-23)
会員総数:202名　　出席会員数:181名(本人出席　19名、委任状出席　162名)

議長選任の経緯

定刻19時に司会者原田専務理事が開会の挨拶と、審議に先立ち福田会長が挨拶を行った後、議長の選任を諮ったところ、出席会員より執行部一任の承諾を得て、定款第15条に基づき渡義彦氏を選任した。議長より挨拶の後、委任状を含めた出席会員数181名、委任状を含めた議決権数181個であることから本日の臨時総会は定款第17条第1項・2項の規定する定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、開会を宣した。

議事の経過の要領及び議案別決議の結果

議案第１号　会長候補者選任の件

事務局より、平成27年5月30日施行の会長候補者選挙規程の第3条、第5条2項に基づき本総会での決議を求めるものとする説明が為された。

議長が会長候補者「松浦紘明氏」の選任について賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもって、異議なく可決決定した。

議案第２号　定款の一部変更の件

三堀副会長から、議案書に基づき、会員区分に関する一部追加・変更について次のとおり説明があった。

① 法人の構成員に(3)項「終身会員」を追加する。
　80歳になった時点で終身会員へ変更を希望する者
② 改正前(3)項を(4)項に変更

議長が本議案は特別決議事項である旨説明し、賛否を議場に諮った。

正会員総数の過半数及び議決権の3分の2以上の賛成をもって、原案通り可決決定した。

議案第３号　防府薬剤師会諸規程の一部変更の件

三堀副会長から、議案書に基づき、「会員規程」・「会費規程」に関する一部追加・変更、及び「附則」の適用日削除について説明があった。

議長が賛否を議場に諮ったところ、委任状を含めた賛成が過半数に達したため、可決決定した。

議長は、以上をもって議案全部の審議を終了したことを告げ、議長席を退席した。

司会者原田専務理事より議長にお礼の挨拶の後、臨時総会終了をした旨を述べ19時16分に閉会を宣言し解散した。

― 職場紹介 ―

めばえ薬局　　中島　理恵

こんにちは。めばえ薬局です。

当薬局は、平成１２年９月に三田尻一丁目くらしげ小児科の東隣に開局してから今年で１６年経ちます。

小児科を主に受ける薬局の特徴として、開局した当時に患者さんとして来ていた子どもが、今ではお母さんになって自分の子どもを連れて来たり、当時お母さんとして来ていた方が、今はお孫さんを連れて来たりと、その度に昔話に盛り上がったりしています。

現在薬剤師３名（たまに４名）、事務（パートも含め）３名のスタッフで対応しています。スタッフの平均年齢は高めですが、現在若いピチピチの事務員を募集中ですので、皆さんのお手元にこの清流が届く頃には平均年齢がぐっと下がっているかもしれません。（笑）

小児科の処方箋がほとんどのため、粉薬を分包することが多く狭い調剤室に円盤式の分包機が２台あり、風邪などが多い冬場は２台の分包機がほぼ一日中動いています（だから冬場でも暑い暑い）。兄弟２，３人、多い兄弟は５，６人同時に来るので、忙しい中でも一人一人の体重と薬の量が間違っていないか等に注意しながら慎重に調剤しています。

小児科はまず薬を飲んでもらう事が大事なのですが、子どもさんの中には、薬が大好きで喜んで飲んでくれる子もいれば、大嫌いで飲ませるのにとても苦労していらっしゃる親御さんもいらっしゃいます。

どの様に工夫すれば飲んでくれるか、今までの経験と他のお母さんから聞いた情報等を参考にしてみたりしながらいろいろなアドバイスをしています。

毎日たくさんのかわいい赤ちゃんや子どもさんの笑顔に癒され、時には大きな元気な泣き声に驚いたりしながら、スタッフ一同、毎日楽しく笑顔で接客しています。

これからも笑顔の絶えない薬局を目指して頑張りますので、よろしくお願いします。

― こんにち和 ―

氏名（ふりがな）：中村（なかむら） 愛加（あいか）
血液型：O 型
出身大学：城西国際大学
（平成 24 年度卒）
勤め先：三田尻病院
趣味：テニス、バドミントン、土いじり
好きな言葉：努力できるのも実力のうち
ひとこと：１歳 3 ヶ月の息子を託児所へ預けながら働いています。
忙しい日々ですが、とても充実しています(^^)
よろしくお願いします。

氏名（ふりがな）：河濟（かわすみ） 悠生（ひさお）
血液型：B 型
出身大学：富山大学
（平成 26 年度卒）
勤め先：山口県立総合医療センター
趣味：野球、献血、麻雀
好きな言葉：明日には明日の風が吹く
ひとこと：まだまだ分からないことも多いですが、少しでもお役にたてるよう頑張っていきます。

氏名（ふりがな）：椎木（しいぎ） 康之（やすゆき）
血液型：B 型
出身大学：長崎大学
（昭和 62 年度卒）
勤め先：防府栄町薬局
趣味：ゴルフ
好きな言葉：日々精進
ひとこと：防府に帰ってきて 9 年。これからもよろしくお願いします。

－会員の動き －

◇入会◇

山地　紗おり	えびす薬局新田店
芳樹　美香	防府胃腸病院
藤井　英寿	そうごう薬局防府駅南町店
原井　耕平	県立総合医療センター
小川　優佳	県立総合医療センター
藤井　香帆里	県立総合医療センター
吉本　衣梨花	新くわのやま薬局

◇退会◇

藤山　ちひろ	防府リハビリテーション病院
吉田　千秋	大崎薬局
岡野　康子	防府胃腸病院
松村　直子	フェリース薬局松崎店
江浪　康子	シブヤ薬局八王子店
西山　光	そうごう薬局三田尻店
吉田　光邦	そうごう薬局三田尻店

◇変更◇

渋谷　いく子	シブヤ薬局八王子店	→	シブヤ薬局戎町店
尾上　志摩子	シブヤ薬局戎町店	→	シブヤ薬局八王子店
守田　和彦	県立総合医療センター	→	県立こころの医療センター
名和田　幸介	県立こころの医療センター	→	県立総合医療センター
久保　彰則	そうごう薬局防府駅南町店	→	そうごう薬局三田尻店
小橋　長任	新くわのやま薬局	→	いちのみや薬局植松店

―　表彰　―

平成２７年度山口県薬剤師会会長表彰を、田中薬局　田中　實先生が受賞されました。おめでとうございます。

― 生涯教育 ―

○ 2 月 4 日(木) 出席者数:23 名(内薬剤師数 23 名 内会員数 23 名)

操薬と一く in 防府

JPALS コード「35-2015-0209-101」

「指先血液採取による健康チェック研修」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 森川 則文 先生

○ 2 月 21 日(日) 出席者数:91 名(内薬剤師数 69 名 内会員数 32 名)

くすりと健康フェア

JPALS コード「35-2015-0210-101」

「『おくすり管理箱』のバージョンアップと心促作業福祉センターとの連携事業について」

一般社団法人防府薬剤師会 在宅医療推進委員会委員

シブヤ薬局 下右田店 管理薬剤師 渡 義彦 先生

「地域包括ケアにおける薬局・薬剤師の新たな役割」

ファルメディコ株式会社代表取締役

一般社団法人日本在宅薬学会 理事長 狭間 研至 先生

○ 2 月 26 日(金) 出席者数:48 名(内薬剤師数 31 名 内会員数 25 名)

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2015-0211-101」

「高尿酸血症治療剤フェブリク錠について」

帝人ファーマ株式会社

「CKD進展阻止のための高尿酸血症治療」

小倉記念病院 腎臓内科部長 副院長 金井 英俊 先生

○ 3 月 10 日(木) 出席者数:94 名(内薬剤師数:62 名 内会員数 57 名)

防府医療圏生涯学習研修会

JPALS コード「35-2015-0225-101」

「平成 28 年度診療・調剤報酬改定の概要」

エバルス 営業本部 営業戦略部 カスタマーグループ 松本 浩明 先生

○ 3 月 18 日(金) 出席者数:60 名(内薬剤師数 47 名 内会員数 33 名)

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2015-0226-101」

「SGLT2 阻害薬フォシーガにおける最新情報」

アストラゼネカ株式会社

「SGLT2 阻害薬と糖質制限は同じ?」

京都府立医科大学 内分泌・代謝内科学 教授 福井 道明 先生

○ 4 月 14 日(木)出席者数:25 名(内薬剤師数 25 名　内会員数 19 名)

操薬と一く in 防府

JPALS コード「35-2016-0006-101」

「最新の医薬関連情報(2～3 月度)と症状から見る病態生理(めまい・アルツハイマー)」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授　　森川 則文 先生

○ 4 月 15 日(金) 出席者数:100 名(内薬剤師数 58 名　内会員数 46 名)

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2016-0007-101」

「リクシアナ錠について」

第一三共株式会社

「静脈血栓症治療の入口と出口」

山口県立総合医療センター循環器科 部長　　金本 将司 先生

「心房細動のトータルケア -Catch-all AF-」

公益財団法人心臓血管研究所 所長　　山下 武志 先生

○ 5 月 11 日(水) 出席者数:53 名(内薬剤師数 28 名　内会員数 27 名)

防府市 呼吸と心臓を勉強する会

JPALS コード「35-2016-0018-101」

「スーグラに関する情報提供」

アステラス製薬株式会社

「喘息の診断から治療の Up To Date」

山口大学医学部付属病院　呼吸器・感染症内科　准教授　　平野　綱彦　先生

「心不全と糖尿病：Double Danger!!」

国立大学法人　北海道大学病院循環器病態内科学分野　教授　筒井　裕之　先生

○ 5 月 19 日(木) 出席者数:34 名(内薬剤師数 34 名　内会員数 34 名)

防府医療圏生涯学習研修会

JPALS コード「35-2016-0019-101」

「平成 28 年度調剤報酬改定とかかりつけ薬局としての対応」

サンキ　コンサルティング課　　原　　裕一　先生

○ 5 月 25 日(水) 出席者数:78 名(内薬剤師数 51 名　内会員数 39 名)

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2016-0020-101」

「ジャヌビア錠についての情報提供」

ＭＳＤ株式会社

「インクレチン関連薬を日常臨床にどういかすか？」

神戸大学大学院医学研究科　糖尿病・内分泌内科　講師　　坂口　一彦　先生

山口健康福祉センターからのお知らせ

1　昨年度、登録販売者制度が改正・施行（平成27年4月1日施行）されましたが、平成27年度の試験合格者等にあっては、管理者等となるに当たっての経過措置が設けられていますので、関係のＨＰ等を御確認ください。（経過措置期間：平成32年3月31日まで）

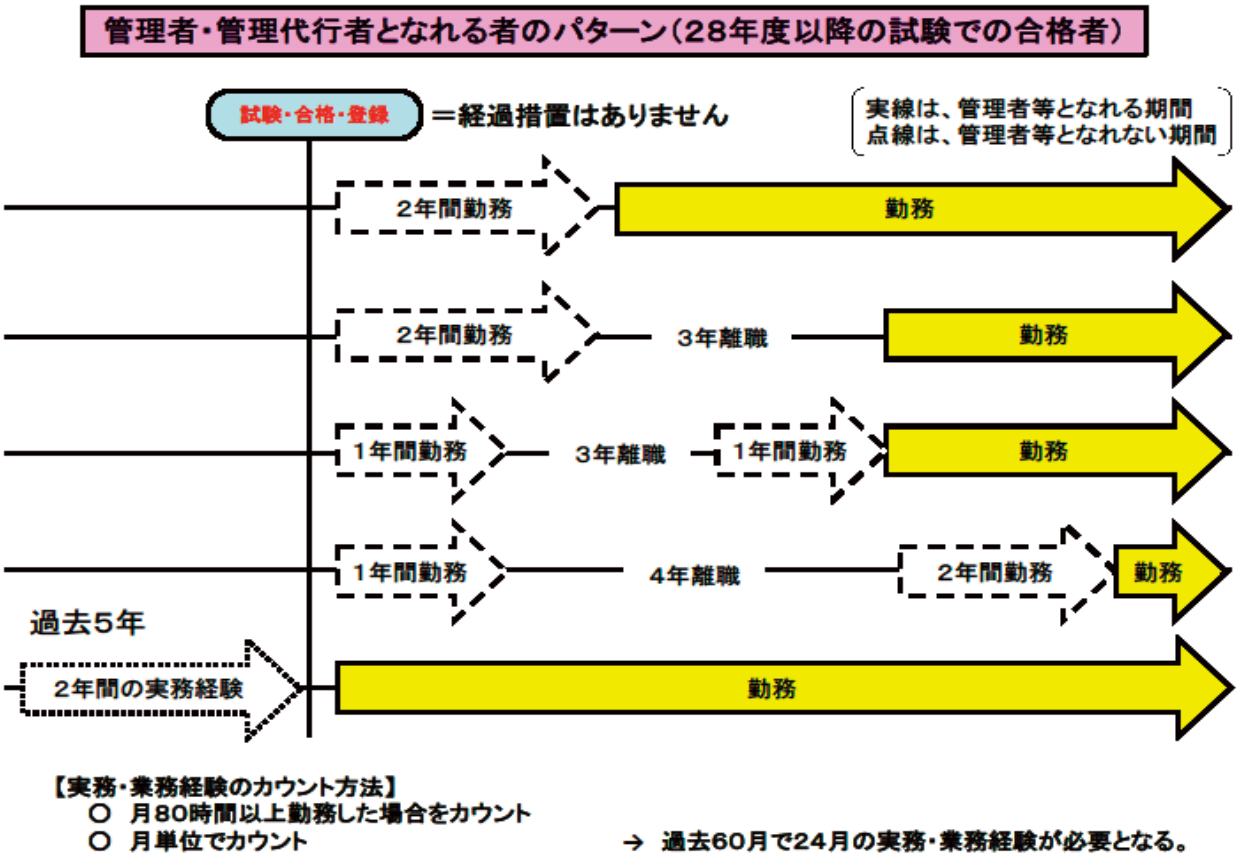
〇受験資格に関する学歴および実務経験要件を廃止

〇管理者・管理代行者となるには、過去５年間のうち２年間の実務・業務経験が必要
⇒　実務経験が２年に満たない登録販売者は、研修の受講が必須

〇管理者・管理代行者要件を満たす登録販売者と、それ以外の者は掲示・名札で区分
⇒　名札に「研修中」などを表記

〇薬局等開設者に、当該登録販売者の勤務経験の記録・保存義務(5年間）を課すとともに、求めに応じた勤務経験の証明を義務付け　（管理者等になる際に使用）

（参考）
・登録販売者制度改正について：http://wwwhourei.mhlw.go.jp/cgi-bin/t_docframe.cgi?MODE=tsuchi&DMODE=CONTENTS&SMODE=NORMAL&KEYWORD=&EFSNO=6723
・外部研修について：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15400/yakuzi/20120626001.html



2　厚生労働省では、「患者のための薬局ビジョン　～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～　」　を策定しました。（平成27年10月23日）

〇服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、24 時間対応・在宅対応、医療機関等との連携など、かかりつけ薬剤師・薬局の今後の姿を明示

〇中長期的視野に立って、かかりつけ薬局への再編の道筋を提示

（参照）厚生労働省：　http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000102179.html

― 熊本地震 DMAT 活動報告 ―

山口県立総合医療センター　白野　陽正

2016.4.16(土)から 2016.4.19(火)まで、災害派遣医療チーム DMAT (Disaster Medical Assistance Team)として活動してきました。

DMAT とは、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成されます。大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね 48 時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

薬剤師という言葉は、この DMAT の中には出てきませんが、この中の業務調整員に当たります。DMAT のユニフォームでは、業務調整員の名前ではなく、薬剤師の名前をつけています。業務調整員の主な業務は、一言でいうと情報等の収集・伝達・整理となります。業務調整員で薬剤師であることは、薬の事で何かあれば役に立てるということがあると思います。

以下、時系列で示します。

2016.4.16(土)午前 1 時 25 分頃　熊本県熊本地方　震度 6 強地震。

4 月 16 日(土)

5:01　DMAT 本部より待機要請

6:30　県より出動要請あり。

10:00 病院出発

16:00 熊本赤十字病院到着

18:00 指令　スタジアムに行って、自衛隊ヘリコプターで患者を乗せ、宮崎大学まで搬送する。ヘリコプターの機内での活動を行うよう指示を受けた。

19:05 ミーティング

20:00　スタジアムに到着。ヘリコプターは 3 機来ていた。患者 4 名のみ、ヘリコプターは 1 機のみの搬送になる。ヘリコプターに乗せる患者の搬送補助を行う。

20:40　スタジアム出発。

21:00　熊本赤十字病院到着。

4 月 17 日(日)

6:30 ミーティング

8:45　水俣市の避難所のスクリーニングに行く依頼あり。2 チームで。

9:00 熊本日赤病院出発

11:00 水俣市役所着　水俣市役所　対策本部で情報収集避難所は 2 施設のみ。

11:20 施設確認。EMIS(Emergency Medical Information System 広域災害救急医療情報システム)に状況を入力する。

12:20 水俣市役所　災害対策本部へ報告。

12:25 撤収

15:00 本部へ連絡、スクリーニングの現状と、熊本日赤には戻らない旨報告。道が大変混んでいるため。今日の次のミッションの確認をすると、今日はないとのこと。

17:30 荒尾のホテル到着

18:30 チーム内ミーティング

4 月 18 日(月)

4:30 ホテル出発　九州自動車道植木 IC 経由

6:30 熊本赤十字病院 DMAT 本部到着　八代市避難所のサーベイを行う予定

7:00 ミーティング

9:00　宇城市の避難所・救護所のサーベイランス。6 チームのチームリーダーとなる。
避難所の所在確認リスト作成。実際に現地を確認する。EMIS に状況を入力する。閉鎖も問い合わせる。保健師の確認、水道、トイレ、感染症(ノロ、カゼ等)等。緊急があれば、本部へ連絡する。例えば、ノロウイルス、医療ニーズがある場合等。

10：30　熊本赤十字病院出発

12：30　宇城市役所到着

13：25 宇城地区サーベイランス本部設置（健康福祉部 保健福祉センター内）
他のチーム避難所現場に行き状況確認。

14:45DMAT 避難所スクリーニング本部より tel あり。現在の進捗状況の報告をしてほしいとのこと。

16:40 宇城地区サーベイランス本部撤収。
熊本日赤に移動開始。

18:05 熊本日赤到着

18:50 本隊の任務終了

19:00 ミーティング

19:30 熊本日赤出発

4 月 19 日(火)

1:05 病院帰還

1:45 任務終了

以下、少し感想を書きます。

東日本大震災後、DMAT の中では業務調整員の役割が大変重要なものとなってきています。なぜかというと、情報が大切だからです。活動当日は、患者の搬送補助をしましたが、翌日、翌々日は、避難所のサーベイランスという活動となり、医師、看護師も一緒になり、情報の収集等(各避難所を地図で調べ現場に行き確認)を行い、EMIS に入力しました。医療ニーズを把握するためにも、重要な活動だったと思います。

発災の夕方、熊本市内に入りましたが、水をビニール袋に入れて持ち帰られている方や、コンビニで

は、おむすび、弁当類は全く無くなっていました。夜は、車中泊でしたが、余震で車が結構揺れました。言葉で言うのは簡単ですが、本当に市民の方々の生活は大変だっただろうと思います。

毎回思う事は、災害はいつ起こるが分かりません。出来る限り、実際に災害が起こったときには、色々な事を想定しておかないといけないということです。例えば、自分の住んでいるところ、薬局、病院等で、津波が来たら何メートル浸水するかは、市や県のハザートマップを確認するとわかります。そうする事によって、より具体的にどう行動すれば良いかということが、考えられると思います。

― 熊本地震薬剤師ボランティア活動報告 ―

山口県立総合医療センター　渡邉　紘企

活動期間：2016.4.22～4.24

活動場所：益城町総合体育館

活動内容

4 月 22 日(金)

17 時にホテルにて 3 班より引継ぎを受けた。内容は、活動場所はホテルエミナース。1 度熊本県薬剤師会に立ち寄り正式な指示を仰ぐこと。水道・電気共に問題なし。食料も熊本市内にて購入可能。活動内容は 16 時までが処方箋調剤。16 時以降は OTC 対応。

4 月 23 日(土)

7:30 にホテルを出発。10:40 熊本県薬剤師会へ到着。活動内容について説明を受けた。活動場所は益城町総合体育館へ変更。救護班が診察を行っているので処方箋による調剤を行う。患者 1 人につき薬剤師 1 人が同行する流れをとっている。調剤の流れや後発品への変更については要約されたものを渡された。避難されている方への配慮を忘れないよう強く言われた。12:20 熊本県薬剤師会を出発。13:35 益城町総合体育館へ到着。リーダーの坂本先生より状況の説明を受けた。電気は来ているが断水している。正面玄関横にてお薬相談コーナーを開設。裏手の日赤救護班に同行して調剤をしている。薬剤師は現在 6 県 15 人。付近の病院・薬局は営業しているところも多いので、薬が不足している等の相談はかかりつけが開いているか確認して欲しい。4/23 山口県薬剤師会は、お薬相談コーナーを担当して欲しい。避難所の全体会議が 1 日 2 回あるので、各県 1 名参加して欲しい。

お薬相談コーナーにて待機し､OTC を渡す､診察が必要と思われる患者は救護班へ案内するなどした。15 時より気温、湿度、CO2、照度、浮遊粉塵等の測定をするとのことで同行。測定の際などに避難所を巡回して断水しているにも関わらず、手指衛生があまり促されていない状況にあることに気が付いた。18 時エタノール手指消毒剤と手指衛生を促す看板をもって巡回を行った。夜の全体会議後、他施設でノロウイルスが出たこともあり、当避難所でも衛生班がたちあげられた。薬剤師も協力して感染対策を行ってほしいとのこと。感染制御については山口県薬剤師会を中心にして行うこととなった。

4 月 24 日(日)

朝の全体会議にて、トイレ掃除・ドアノブや手すり等の除菌のボランティアがいるので清掃方法等を指導して欲しいとの要請あり。トイレ掃除には 0.1%次亜塩素酸、ドアノブ等の除菌にはエタノールを使用することとした。ガウン・マスク・手袋を用意。各ボランティアに清掃方法・作業終了後のガウン・

手袋等の脱ぎ方を説明。

11:00 他の施設でノロが発生しているため、手指衛生啓発と吐瀉物は自身で処理しないようアナウンスを行った。吐瀉物の処理は介護士が行うと衛生班できめているよう。衛生班に依頼し手指衛生啓発のポスターを館内に掲示してもらうこととした。嘔吐・下痢の症状がある人がいないかの声掛けも合わせて行った。

12：30 第 6 班が到着し引継ぎを行った。13 時益城町総合体育館を出発。16：30 博多へ到着。17 時 7 班への引継ぎと車の受け渡しを行い帰路へ着いた。

ボランティアを通して感じたこと

・急患対応はニーズが減少しているので感染対策に重きを置いていく必要がある。

・感染対策に詳しい薬剤師を派遣し、現地での指導が必要ではないか。熊本県薬から日薬に要望して欲しいと依頼。

・手洗いができない状況ではウェットティッシュ等での清拭も重要なので重点的に配布してもよいのではないか。

・益城町総合体育館は土足の場所も多くあり、人が土足で通行している真横で寝泊まりし、食事をされている。ペットも連れ込まれており共同で生活している。この状況を改善することが感染対策では非常に重要であるように思う。

・高齢者は 1 日中横になっている方も多いようでエコノミークラス症候群の予防の為にも運動を促す必要がある。例えば、ラジオ体操等が有効ではないか。

オーエス中関薬局　　舟谷　博文

山口県薬剤師会の災害派遣チーム第 6 班として熊本地震被災地へ薬剤師ボランティアとして支援活動を行ってきたので、その内容について報告する。

今回の派遣は、宇部薬剤師会のあおば薬局の奥村先生、三好薬局宇部店の三好先生と私の 3 名のチーム構成で参加した。当初、山口県薬剤師会災害派遣チームは第 1 班から第 4 班までは熊本空港傍のホテルエミナースで活動し、第 5 班からは益城町総合体育館に活動場所が変更になったため、我々第 6 班は第 5 班が新たに開始した支援活動を引継ぐ形で活動した。

スケジュールと支援活動内容は以下の通りである。

《スケジュール》

4 月 23 日(土)

新山口駅に集合し小倉に移動

第 4 班から車両等の引継ぎを受けてその日は小倉で宿泊

4 月 24 日(日)

7:00　車で小倉を出発

10:30　熊本県薬剤師会到着、状況等について説明を受け、目的地の益城町総合体育館に向けて出発

11:30　益城町総合体育館に到着、その後第 5 班から引継ぎを受けて支援活動開始

24 日の支援活動終了後、体育館内で就寝（寝袋）

4 月 25 日(月)

12:00　支援活動終了し、第 7 班への引継ぎ開始

14:00　益城町総合体育館出発

17:00　第 8 班への車両等の引継ぎ

18:30　新山口着後、解散

《支援活動内容》

1．ボランティアが行うトイレの清掃時の消毒薬の濃度調製

・消毒液として 10%次亜塩素酸ナトリウムを 0.1%に希釈してスプレー容器に充填

・清掃時に使用するマスク・手袋・エプロンなどの物品不足の為、供給ルートの確立

2．ノロウイルス感染防止対策として食事前やトイレ後の消毒の啓蒙

・食事の配給時間（8:00、12:00、15:00、17:30）になると待機の行列が出来る為、エタノール消毒液を持って一人ずつ消毒して回ることと、配給時間前に手指消毒励行の館内放送実施

・トイレの近くの手洗い場で流水による手洗い方法の説明とエタノール消毒の励行指導

3．中学生ボランティアの館内清拭活動（手すり・ドアノブ等のアルコール消毒）の支援

4．おくすり相談窓口での被災者からの相談や救護所への案内及び救護所での調剤業務

《災害支援活動で感じたこと》

・支援する活動内容は派遣される先において様々であり、災害時に必要な薬剤師としての知識を習得しておくなど、日頃からの準備が重要であると今回の派遣ボランティア活動で感じた。

・災害派遣時に把握しておく必要のある情報のリンクが県薬ホームページに掲載されており、まだご覧になられてない方はこの機会に是非一度下記ＵＲＬからご覧下さい。

http://www.yama-yaku.or.jp/member/news2016/eq/kumamoto-eq2.htm

http://www.yama-yaku.or.jp/member/news2016/eq/kumamoto-eq.htm

http://www.yama-yaku.or.jp/member/news2016/kumamoto-1.pdf

http://www.yama-yaku.or.jp/member/news2016/kumamoto-2.pdf

http://www.yama-yaku.or.jp/saigai_haken/report2016-1.html

― 献血が行われました ―

5月19日(木)、防府薬剤師会館にて、献血が行われました。今年は、骨髄バンクドナー登録の受け付けもありました。

参加者　献血28名(うち25名献血)
　　骨髄バンク登録6名

ご協力、ありがとうございました。

■編集後記■

4月に診療報酬が改定され、少し落ち着いてきたところでしょうか。特に、かかりつけ薬剤師はみなさんの関心も高いようで、勉強会への出席者がかなり増えているそうです。ただのシール集めにならないよう、しっかり勉強し患者さんのために役立ててもらいたいものです。

そして、防府薬剤師会も新体制になりました。今後は、松浦新会長の手腕に期待したいと思います。そのためにも、会員のみなさんの協力が不可欠です。一致団結して盛り上げていきましょう。

(一社)防府薬剤師会　広報委員会
（白野　陽正、松井　都世子、渡邊　太朗、佐藤　洋平、青谷　元喜）

発行所
〒747－0028　防府市東松崎町4－23
(一社)防府薬剤師会
TEL:0835－38－4360
FAX:0835－38－4371
URL:http://hoyaku.jp/
e-mail:info@hoyaku.jp
発行編集人　松浦　紘明
印刷所　　瞬報社オフリン印刷株式会社
山口市小郡下郷2410
TEL:083-972-5678